

機能と利点

高度なフロー制御

Cloudmark Gateway は、高度なレート制限、RBL、ターピティング (tarptitting)、トラフィック・シェーピング、フロー制御によって、悪意のある送信者を制限し、メッセージング・インフラへの影響を最小限に抑えます。このため、メッセージの不正使用を大幅に低減し、スパムがネットワークに侵入するのを阻止することができます。

ネットワーク・エッジで完全なコンテンツ・フィルタリングを実現

Cloudmark Gateway では、Cloudmark Authority のアンチ・スパム、アンチ・フィッシング、アンチ・ウィルスの各ソリューションをプロトコル / コンテンツ・フィルタリング段階で実行できます。また、Cloudmark Gateway を導入すれば、業界をリードする Cloudmark Authority のフィルタリング機能によって、インフラ・コストを大幅に削減することができるだけでなく、顧客満足度を高めることも可能になります。

柔軟性の高いポリシー管理エンジン

Cloudmark Gateway のポリシー管理エンジンは、カスタム・ルールのほか、ホワイトリスト / ブラックリスト、送信者認証、およびその他のポリシーをサポートする LDAP などのリポジトリと連携して動作します。柔軟性の高いポリシー管理エンジンと Sieve++ スクリプトを使用すれば、SMTP セッション中にメッセージをフィルタリングすることができます。また、このスクリプトを用いて Cloudmark Gateway の様々な側面を制御することも可能となります。なお、拡張性の高いポリシー管理エンジンは、レガシーまたはサードパーティ・アプリケーションと簡単に連携させることができます。

Cloudmark Sender Intelligence

送信者をグローバルに監視できる包括的な解析システムである Cloudmark Sender Intelligence (CSI) は、Cloudmark の Global Threat Network から収集したデータを利用して、メッセージ・コンテンツの送信者の評価スコアを算出する機能を備えています。リアルタイムのレポート、トラフィック・パターン解析、フィンガープリント相関統計などの様々なデータ・ソースを使用して、最新かつ正確な送信者プロファイルを作成する CSI サービスは、既存の DNSBL では対応できない範囲までカバーします。

一元化された管理

Cloudmark Gateway は、コマンド・ライン・インターフェースを採用した Web ベースの強力な管理およびレポート機能を搭載しています。システム管理者が Cloudmark Gateway を使用すれば、グローバルなクラウド構成とポリシー管理によって、貴重な管理時間を節約することができます。また、使いやすいインターフェースを用いて、クラウド全体を一元的に表示しながら、サーバの状態と動作を監視し、配信の問題と不正使用を簡単に検出できるというメリットも享受できます。

ネットワーク・エッジで最高レベルのセキュリティを実現

現在では、スパム、ウィルス、フィッシング詐欺、DoS 攻撃など、増加および複雑化し続けている様々な不正トラフィックがサービス・プロバイダのネットワークに流入する危険性が、これまで以上に高くなっています。しかも、このような不正トラフィックが空前の増加を示しているため、重要なメッセージング・インフラと加入者の電子メールを確実に保護する新しいパラダイムが必要となっています。

高性能なメール転送エージェント (MTA) である Cloudmark Gateway は、メッセージング・セキュリティ・ソリューション「Cloudmark Authority」と連携し、ネットワーク・エッジで最高レベルのセキュリティを実現します。たとえば、ポリシー・ベースのプロトコル / コンテンツ・フィルタリングによって、迷惑な電子メール・トラフィックをブロックし、メッセージング・サーバやストレージなどのインフラに影響が及ばないようにすることができます。また、ネットワークを危険にさらす「ボットネット攻撃」や「ゾンビ攻撃」も効果的に阻止でき、インフラおよびオペレーション・コストの削減や、電子メールのユーザー・エクスペリエンスの大幅な向上のほか、危険性が深刻化しているメッセージ悪用の防止を図ることができます。

クラスタ構成で動作し、ほぼ無限のスケーラビリティとキャリア・クラスの信頼性を備えた Cloudmark Gateway は、きわめて効率が高く、他社のソリューションよりもはるかに少ないリソースで処理を実行できます。サービス・プロバイダがこの製品を導入すれば、高度に個別化したメッセージング・サービスを、柔軟性の高いポリシー管理エンジンを利用して提供することができます。なお、Cloudmark Gateway プラットフォームは拡張性に優れており、主要なメッセージ・ストア、データベース、プロビジョニング・システム、請求システム、ディレクトリ、従来の電子メール・サーバと接続して使用できます。

ネットワーク・エッジで高度なセキュリティを実現

Cloudmark Gateway と高性能な Cloudmark Authority を連携させて利用すれば、ネットワーク・エッジでコンテンツを完全にフィルタリングし、迷惑メールの 98% 以上を阻止できるため、メッセージング・インフラへの影響を大幅に低減することができます。また、サービス・プロバイダが定義したポリシーと Cloudmark Sender Intelligence を SMTP 段階で利用してトラフィックを処理し、さらにフロー制御、アンチ DoS、トラフィック・シェーピング、接続抑制などの特殊な脅威防御技術を使用することで、あらゆるタイプの不正メッセージを防止することができます。

完全なポリシー制御

Cloudmark Gateway では、LDAP 設定値、データベース、請求システムなどのデータ・ソースを利用して、メッセージングまたはビジネス・ポリシーを完全に制御する仕組みになっています。Cloudmark Gateway は、サードパーティのアプリケーション、レガシー・システム、およびその他のツールと簡単に連携させることができる拡張性の高いフレームワークを採用しています。

業界最高レベルの精度

Cloudmark Gateway は、誤検出を最小限に抑えつつ、スパム、フィッシング、ウィルスの 98% 以上をブロックする業界最速・最高精度のメッセージング・セキュリティ・ソリューション「Cloudmark Authority」とシームレスに連携して動作します。また、Cloudmark Global Threat からレポートされる信頼性の高いデータとともに、Advanced Message Fingerprinting™ アルゴリズムを使用して、ウィルスとその変種を自動的に検出する機能を備えた Cloudmark Gateway は、メッセージ受信後の SMTP 段階またはコンテンツ・フィルタリング段階で動作させることができます。

キャリアグレードのパフォーマンスとスケーラビリティ

各 Cloudmark Gateway は、Cloudmark Authority による完全なコンテンツ・フィルタリングを実行しながら、1 時間あたり 300 万件以上のメッセージを処理することができます。これは、他社のソリューションの 20 倍の速度です。なお、Cloudmark Gateway は、動的に拡張して常に高い可用性とサービス品質を保証するアーキテクチャを採用しています。

機能と利点 (続き)

レポートと解析

SNMP レポートをサポートする Cloudmark Gateway は、既存の監視システムと簡単に連携させることができます。また、Web インターフェースを使用してトラフィックをリアルタイムに解析できるだけでなく、表およびグラフ形式の様々なレポートを作成し、各種フォーマットにエクスポートすることも可能です。

拡張性の高いプラットフォーム

Cloudmark Gateway プラットフォームは、高い柔軟性とプログラミング性を備えており、ビジネス・アプリケーション用の API を利用し、サードパーティまたはカスタムの請求システム、ネットワーク・プロビジョニング・システム、サポート・システムなどに合わせて、機能を簡単に拡張することができます。

技術情報 — ソフトウェア構成

対応 OS — ソフトウェア構成

Red Hat Enterprise Linux 4 および 5 (32/64 ビット Intel プラットフォーム)
Sun Solaris 10 (64 ビット SPARC/Intel プラットフォーム)

受信プロトコル

SMTP/ESMTP

配信プロトコル

SMTP (RFC 2821 に準拠)
LMTP (RFC 2033 に準拠)

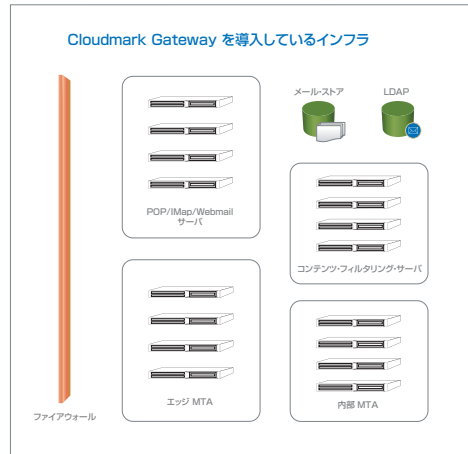
パフォーマンス

SMTP 受信: 完全なコンテンツ・フィルタリングを実行しながら、1 時間あたり 300 万件以上のメッセージを処理

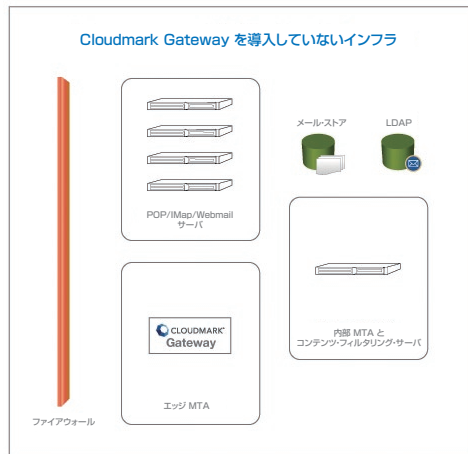
SMTP 配信: 完全なコンテンツ・フィルタリングを実行しながら、1 時間あたり 300 万件以上のメッセージを処理

SMTP 同時セッション数: 100,000 以上

サービス・プロバイダ環境をサポートする Cloudmark Gateway



Cloudmark Gateway は、サービス・プロバイダのインフラ・コストを大幅に削減します。



詳細は www.cloudmark.com をご覧ください。

日本事業所
クラウドマーク ジャパン
〒107-0052
東京都港区赤坂 4-13-5
赤坂オフィスハイツ 131
電話: 03-6277-8816
Fax: 03-6277-8829
電子メール: japan@cloudmark.com

北米事業所
Cloudmark, Inc. (本社)
128 King Street, 2nd Floor
San Francisco, CA 94107 USA
電話: +1-415-543-1220
Fax: +1-415-543-1233